

「横浜市消防局」組織名称表記ロゴタイプを製作

横浜市消防局

横浜市における国際化の進展や、消防局におけるメディア等を通じたプロモーション活動の活発化を踏まえ、「表記の統一」「英語の併記」「ブランディング」の観点から、デザイン委託により横浜市消防局ロゴタイプを製作し、令和2年1月1日から使用を開始しました。今後、被服・車両・広報物等へ展開し、組織の統一感・一体感の醸成を目指します。

横浜市消防局
YOKOHAMA FIRE BUREAU

コンセプト

ネイビーブルーをベースカラーとし、街の安全を守る「信頼性」や市民の「安心」をスピード感と先鋭的な印象で表現しました。

消防庁長官からの賞状の伝達式を開催

新潟県防災局

新潟県では、2月14日（金）に令和元年東日本台風による災害において緊急消防援助隊として出動した機関に対する消防庁長官からの賞状の伝達式を開催しました。

新潟県からは、宮城県丸森町には新潟市消防局指揮支援隊が、長野県長野市には新潟市消防局指揮支援隊及び県内15消防本部からなる新潟県大隊並びに航空小隊が出動しました。

伝達式では、副知事が賞状を伝達し、受賞機関を代表して新潟市消防局長から謝辞をいただきました。また、現地での活動状況などについて、新潟県大隊長から御報告いただきました。



消防通信 望楼 ぼうろう

明知鉄道車両構造講習会の実施

恵那市消防本部

明知鉄道は当消防本部管内を南北に走る総延長25.1キロメートルの地方鉄道で、市民の移動手段だけにとどまらず、各種イベントを行っており市外からも多くの人が利用していることから、令和元年12月9日、明知鉄道株式会社協力の下、電源遮断方法の確認や、空気の供給停止の方法などの講習を実施しました。

今後も講習会等を積極的に実施し、災害対応能力の向上を図っていきます。



無通告による夜間特別査察を実施

守口市門真市消防組合

守口市門真市消防組合は、12月16日（月）と19日（木）の2日間、守口市と門真市の夜間営業を主とする小規模雑居ビル等に対して、無通告で立入検査を実施しました。

立入検査では、避難施設にダンボール等の可燃物を放置していた店舗に対して、消防法第5条の3第1項命令に基づく違反処理を実施し、早期の改善を指導しました。

今後も、市民の安心・安全を守るという強い信念のもと、消防法令違反に対する違反是正を積極的に実施していきます。

